第2期
須崎市教育大綱

未来につなぐ元気創造のまち

令和２年３月改訂

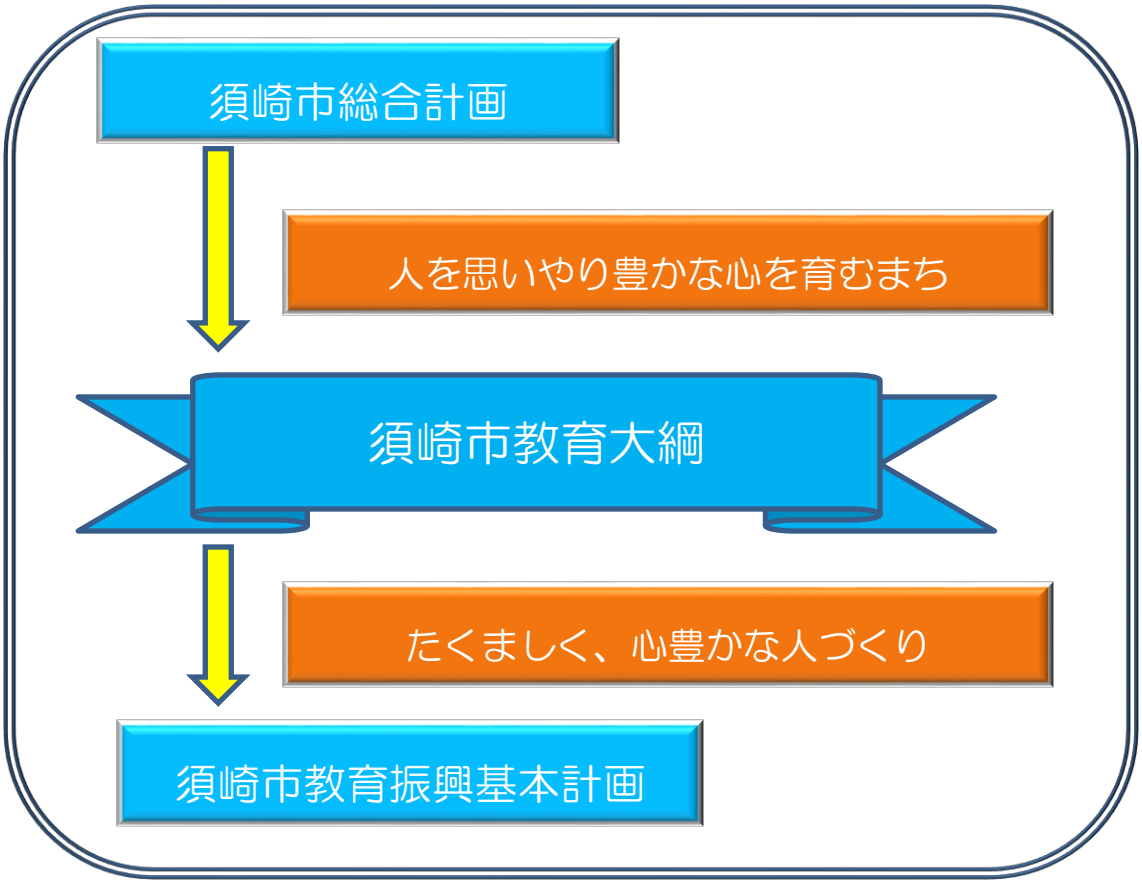
１．はじめに

平成２７年４月１日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、市長と教育委員で構成する総合教育会議において、協議、調整を図り、市長が教育大綱を定めることとなりました。

須崎市では、平成２８年度から平成３１年度までの４年間の第１期須崎市教育大綱を策定し、取り組みを進めるとともに、令和２年３月には、市長と教育委員でその検証等を行いながら、協議、調整を経て令和２年度からの第２期須崎市教育大綱を定めました。

２．須崎市教育大綱の位置づけ

この大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１条の３第１項の規定に基づき、須崎市の教育が目指すべき基本的な方向や推進すべき重要な施策を明らかにすることを目的としています。



３． 須崎市教育大綱の期間

この大綱の対象期間は、令和２年度からの４年間とします。なお、総合計画の見直し、新たな教育課題、国・県の動向等に応じて必要な改定を行うこととします。

４．須崎市教育大綱の目標

本市は、温暖な気候と恵まれた自然条件により農林水産業を中心として発展してきました。さらに、天然の良港である須崎港を活かして海運業や製造業等の産業の集積が進み、高幡地域の中核都市としての役割を担ってきました。

しかし、近年の産業構造の変化やグローバル化・情報化の進展によって地域経済の低迷が続いています。さらには、東日本大震災を踏まえた南海地震津波等に対する防災対策が喫緊の重要な市政課題です。

そうしたなかで、本市教育を取り巻く環境も大きく変化しています。少子化が年々進行していくなか、情報化社会に対応できる力の育成や教科としての道徳、小学校の外国語、プログラミング教育などへの対応を確実に行っていかなければなりません。また、不登校児童生徒数は依然として多く、いじめ等の事案も根絶することができていません。引き続き、命を守る防災教育の推進も必須です。

こうした現状を踏まえ、総合計画基本構想の「人を思いやり豊かな心を育むまち」の実現を図るため、地域資源や強みを存分に生かし、子どもたちが故郷を愛し、夢や志を持ち、若者が地域を想い希望に燃え、全ての市民が生涯向学心を持ち学び続けることのできる教育の実現とそのために必要な教育施設の充実を目標としてこの大綱を策定します。

なお、大綱の目標に沿って教育振興基本計画で施策の具体的取り組みを行うものとします。

基本大綱

たくましく、心豊かな人づくり

～人・もの・自然にやさしい人づくり～

自分たちの住んでいる地域に誇りをもち、学ぶ意欲を育み、自らの夢や目標をもって未来を切り拓いていくような『子どもが笑顔のまちづくり』『生涯学習が盛んなまちづくり』をめざします。

① ふるさと須崎を愛し、夢や志を持って地域の未来を担う人材の育成

② 規範意識・人権意識の醸成と自立心・自尊感情の育成

③ 市民参画による学校づくり、地域づくり

④ 生涯学習・生涯スポーツに基づく地域づくりの推進

⑤ 子ども・子育て支援の推進

⑥ 教育環境の整備

⑦ 時代のニーズをとらえた特色ある教育の推進

目標１　ふるさと須崎を愛し、夢や志を持って地域の未来を担う人材の育成

◆「ふるさと須崎」を愛する心を育み、夢や志を持ち、確かな学力を身に付けた、須崎の将来を担う人材を育成する教育を進めます。

◆防災・減災意識を涵養し、安全・安心なまちづくりに寄与する人材を育成する教育を進めます。

目標２　規範意識・人権意識の醸成と自立心・自尊感情の育成

◆道徳・人権教育の充実を図り、規範意識や人権意識を醸成するとともに、自立心や自尊感情の育成する教育を進めます。

◆家庭、地域の教育力の向上を図り、基本的生活習慣を身に付けた子どもの育成を進めます。

目標３　市民参画による学校づくり、地域づくり

◆市民総ぐるみで教育に取り組む施策を推進し、学校教育・生涯学習を通して、青少年の健全育成を図り、「学校」「地域」「子どもも大人」も元気になる教育を進めます。

◆今後の人口減少や少子高齢化を踏まえ、持続可能な地域づくりを行うために公民館を活動の拠点とした地域自主組織づくりを進めます。

目標４　生涯学習・生涯スポーツに基づく地域づくりの推進

◆公民館や社会教育団体等と効果的な連携を図り、「生涯学習のまちづくり」を推進します。

◆市民の文化意識の高揚を図るとともに文化財の保護、保存に努め、郷土の財産としての意識の醸成を図ります。

◆生涯スポーツ、さらには競技スポーツ等の多様な取り組みを通じて、地域の活性化を図り、市民が健康で生き生きと暮らせる地域づくりを推進します。

◆生涯にわたり地域で学び続けられるよう図書館サービスの充実を図るとともに、その

拠点施設として図書館を含む複合施設の整備を進めます。

◆さまざまな生涯スポーツの取り組みを通じて、地域の活性化を図り、市民が健康で生き生きと暮らせる地域づくりを推進します。

◆スポーツツーリズムの推進とスポーツ振興を目的とした海洋スポーツパーク構想を推進し、交流人口拡大等による地域活性化につなげていきます。

目標５　子ども・子育て支援の推進

◆すさきで子どもを育てたい・子どもも大人もみんなが笑顔のまちづくりを目指して、子育てをとりまく環境やニーズに対応した事業を推進します。

目標６　教育環境の整備

◆学校の適正配置に基づいた学校統合計画を策定し、子どもたちの学びを強化する教育環境の整備を進めます。

◆教職員の働き方改革を進め、児童・生徒と向き合える時間のある学校づくりを進めます。

◆社会教育施設を含む教育施設の整備充実を図り、教育環境の快適性、利便性、安全性の向上の取り組みを進めます。

目標７　時代のニーズをとらえた特色ある教育の推進

◆変化する時代の要請に応え、新学習指導要領の実施に向けた指導体制の充実のために、外国語教育やＩＣＴの環境整備を推進し、児童生徒の学力向上や情報活用力の向上を図ります。

◆統合校においては、保幼・小・中学校の連携に加え、高等学校や高知大学と連携した取り組みの充実を図り、質の高い教育を受けることができる環境づくりを推進します。

◆個性、主体性を尊重し、温かい信頼と承認に満ちた学校を実現し、「学びの個別化・協働化・プロジェクト化」の融合を図り、「探究」をカリキュラムの中核とした学校をつくります。